

「夢先生」のように自分の夢を大切にしよう ～全小学 5 年生がこころのプロジェクト「夢の教室」を受講しました～

子どもたちに夢を持つことの大切などを伝える「夢の教室」は、市内全 19 校の 5 年生を対象に実施しました。夢や目標に向かって、前向きな気持ちを持つ子どもたちが増えています。

■こころのプロジェクト「夢の教室」の概要

○夢を持つことの素晴らしさを伝えるプロジェクト

(公財)日本サッカー協会は、協会のスローガンである「夢」を通じて、子どもたちの健全な成長のため、平成 19 年度から本プロジェクトを始動しました。プロのスポーツ選手等が「夢先生」として学校を訪問し、「夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを子どもたちに伝えます。

○ゲームとトークによる授業構成

『ゲームの時間』…体を動かすことで緊張をほぐし、夢先生と子どもたちとのコミュニケーションを深めながら、仲間と協力することや思いやりの大切さなどを伝えます。

『トークの時間』…夢先生の体験談を通じて、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを伝えます。子どもたちは教材の「夢シート」を用いて、自分が好きなことや得意なことを振り返り、将来の夢(何になって何をやりたいのか)やその夢に向かってチャレンジできることを考えて発表します。

○授業後に夢先生からオリジナルメッセージが届く

夢シートは、夢先生へのメッセージも書いて夢先生に届けられます。後日、夢先生から 1 人 1 人にアドバイスや励ましの言葉などのメッセージが添えられて夢シートが返却されます。

○中津川市では 8 年間で 6, 000 人以上が受講

岐阜県内では 13 市町が本事業を導入しており、中津川市は平成 23 年度に県内で初めて導入してから、毎年度全 5 年生を対象に「夢の教室」を実施。(24 年度のみ中学校でサテライト実施)

※今年度の実施については、実施一覧参照(補足資料②)

■30 年度の新たなできごと

①スポーツ分野以外の夢先生が登場

今年度からスポーツ分野以外で活躍されている著名人も夢先生として登場。市内では、アナウンサーのトーマス サリー氏が南小学校で講義しました。

②関係機関による意見交換会の実施

JFA や市、学校関係者による意見交換会を実施。アンケート結果や関係者の意見を通じて、今後の「夢の教室」をさらに有意義なものにするために議論しました。

■児童・先生の感想・評価

○児童の感想

- ・夢先生の話聞いて、失敗しても簡単にあきらめてはいけないことを知り、自分が努力しないと夢は叶わないことを知った。将来の夢をあきらめずに努力をして、夢を叶えたいと思う。
- ・最近あまり夢について考えていなかった。けれど、「夢の教室」で「どのように夢を叶えるのか」など夢について考える時間があったので、また夢に向かって頑張りたいと思った。

○先生の感想

- ・普段はややおとなしい子どもたちだが、「夢の教室」では元気に発言する姿に驚いた。夢先生が話された「あきらめない」「チャレンジ」というキーワードをこれからも投げかけていきたい。

■アンケート結果（29年度データから一部抜粋）

○児童アンケート

授業の前後にアンケートを実施し、心境の変化を分析しました。

【設問】自分の夢を叶えるために、自分がやっているとすること

【回答】①強く思う・②思う・③どちらともいえない・④あまり思わない・⑤思わない

「①強く思う」と回答した割合は以下のとおり。

項目	事前回答率(1)	事後回答率(2)	増減率 ((2)-(1))
自信をもつこと	23%	57%	34%
努力すること	28%	67%	39%
積極的にチャレンジすること	27%	60%	33%
挫折を乗り越える強い気持ちを持つこと	22%	55%	33%

※その他の項目でも、「①強く思う」との回答が約15%～30%上昇しました。

○学校アンケート

児童の反応や授業の効果について5段階で評価しました。評価の平均値は以下のとおり。

質問事項	平均値
「ゲームの時間」での児童の反応	4.89
「トークの時間」での児童の反応	4.35
「仲間との協力、助け合いの大切さ」が児童に伝わった	4.63
「夢を持つことの素晴らしさ」が児童に伝わった	4.63
児童が夢について具体的に考える機会になった【3段階(1・3・5)評価】	4.93

※本事業の実施について、学校側が高く評価していることが推察できます。



蛭川小学校
内田智也先生（元Jリーガー）



阿木小学校
金子大介先生（ラグビー選手）

お問い合わせ先

文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課 担当者：田口
電話：0573-66-1111（内線4307）